



ソーシャルワーカー&ジャーナリストの視点がクロスする！

「魂のある仕事をしましょう」の言葉に一体感が



ソーシャルワーカーデー 2014 in ひろしま
ひろしまのサイレント・プア(声なき貧困)の背景を探る

7月21日の「海の日」、**「ソーシャルワーカーデー in ひろしま」**のイベントが東区地域福祉センターで行われ、94名の方が参加されました。「ひろしまのサイレント・プア(声なき貧困)の背景を探る」と題し、ひとつの医療・保健・福祉分野に限定されない、「関係性の貧困」について語り合いました。



どうすればいいのかのヒントを――

中国新聞文化部の平井さんから「ジャーナリストの視点から」として、中国新聞で特集した「きずな」や「最期の迎え方」等での取材の理由・視点についてお話をいただきました。取材でめざすこととして、「真実を伝えること」「眠っている問題を掘り起こすこと」「課題を乗り越えて実現した事例を紹介する」ことを通して、どうすればいいのかのヒントを伝えたい、という姿勢で取り組んでおられました。

左: 鈴川千賀子さん(広島市社会福祉協議会)

中: 平井敦子さん(中国新聞社文化部) 右: 司会の山地恭子さん(広島共立病院)

活動に取り組む基軸とは――

次に、広島市社会福祉協議会の鈴川さんから「ソーシャルワーカーの視点から」として、自らの生い立ちからソーシャルワーカーになった背景、今、活動に取り組む基軸についてお話いただきました。とくに、ボランティア活動としても取り組んでおられるホームレス支援での出会い、気づきについて豊かなお話をいただきました。

おふたりの取り組む姿勢には共通する点が多く、ジャーナリスト、ソーシャルワーカーが一緒になって社会をよくしていくための可能性が広がるお話でした。最後に、会場との質問票のやり取りを通してリレートークを行いました。鈴川さんが次世代のソーシャルワーカーに伝えたい言葉として、「魂のある仕事をしましょう」という言葉を贈られ、会場に一体感が広がりました。

次世代育成委員会 理事 河野 喬

8月号

特集 ソーシャルワーカーデー報告/ソーシャルワーカーデーをふりかえって
会員紹介リレー/北支部「任意後見・遺言について」研修報告

社会福祉士お勧めの図書/会員便り広告掲載の募集

お知らせ 広島県社会福祉士会のピンパッチができました!/研修イベント情報



ソーシャルワーカーデイをふりかえって

20代の“揺さぶられ感”を聞く。

ソーシャルワーカーデイには多くの若い世代が参加してくださいました。
アンケートから心に響いた様子をご紹介します。

Q. 「ソーシャルワーカーデイ」とは？

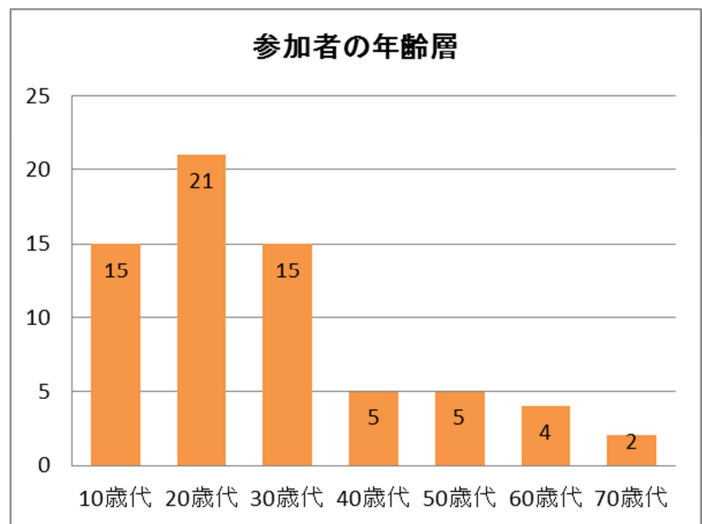
社会福祉士、精神保健福祉士などのソーシャルワーカーの活動を推進・普及するためのイベント。社会福祉関係の全国17団体が加盟する「ソーシャルケアサービス従事者研究協議会」により、ソーシャルワーカーの社会的認知を高めるために2009年に創設されました。毎年「海の日」を「ソーシャルワーカーデイ」と位置づけており、今年で5回目を迎えています。

Q. 「ひろしま」のソーシャルワーカーデイの特色は？

広島県のソーシャルワーカー団体である「広島県社会福祉士会」、「広島県医療ソーシャルワーカー協会」、「広島県精神保健福祉士協会」の3団体が企画・運営し、年々団体間の交流・絆が深まっています。

参加者の感想から

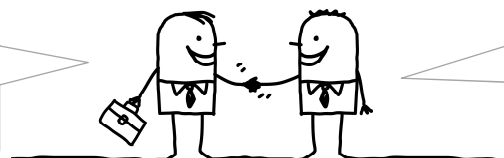
- ◇ジャーナリストの視点から「サイレント・プア」の背景に踏み込んだ問題提起だったと思う。鈴川さんのお話は更に深く掘り下げたものだった。
- ◇ソーシャルワークの基本である「聴く姿勢」が何よりも大切だと、改めて反省の意味も込めて感じました。
- ◇私も『魂のある仕事』をしたいと思います。
- ◇NHKドラマで話題となったCSWの方のお話が聞けて良かった。
- ◇マスコミの視点から見た福祉、ソーシャルワーカーの視点から見た福祉の話を詳しく聞くことができて良かった。
- ◇私も、出会って良かったと思われる人になりたい。
- ◇普段は、教科書を読むだけなので、ソーシャルワーカーやジャーナリストといった滅多に聞けない話を聞くことができたので、とてもいい勉強になりました。
- ◇ごみ屋敷を片付けるボランティアに、地域の人を（近隣）を必ず加える、というお話に深く感銘しました。以前、某社協でボランティアが集まらないと悩んでおられる職員さんを見たことがあります。「彼女に教えたい！」と思いました。
- ◇全国同時開催のため、一体感があり良い。
- ◇とても興味深い内容で、SW、福祉職の自分の原点をあらためて考えさせられました。
- ◇専門分野に特化することなく、広い視点でソーシャルワークについて考えることができて良い機会になりました。



Q. 次に聞いてみたいテーマは？

ホームレス支援 / 地域福祉 / 精神保健福祉分野 / 児童分野、虐待、子どもの貧困 / 大人の発達障害 / ソーシャルワーカーをしていて当たった壁について / 終末期医療について など・・・

人と社会を支えるソーシャルワーカーの仕事の範囲って広いんですね！



そう。だからこそ学び続け、語り続け、そしてつながり続けることが大切なんだよね。

会員紹介リレー

西支部 松本慶太

広島市城山・五日市観音地域包括支援センター

私は現在、地域包括支援センターで主任介護支援専門員の業務をしております。2000年の介護保険が始まった年から介護保険、高齢者福祉に関する仕事をしてきました。

高校時代の私は、将来やりたい仕事が見つからないまま高校を卒業し、浪人を経験することになります。ところがその間に社会福祉士の資格を知り、「人と関わる仕事がしたい」と思い、将来の目標を手に入れて目指すようになりました。浪人、今では良かったと思っています。

社会福祉士会に入会したきっかけは現在所属している法人の施設長から日頃の業務だけでなく、自己研鑽のために入会を勧められたことでした。

会の活動としては、成年後見人養成研修を受講し、ぱあとなあひろしまに名簿登録後、成年後見人等の受任をしています。現在は、ぱあとなあ運営委員をさせていただいております。

私はずっと高齢者福祉に関する仕事をしていますが、知的障がい者の方の成年後見人をすることで障がい者福祉にふれることができています。こうした成年後見活動において、仕事の幅が広がり、また会に入会してから自分自身のネットワークが広がったことも相談業務をする上で大きなプラスになっていると思っています。

改めて社会福祉士としての役割を考えながら、これまでの経験を活かし、今後も自己研鑽をしながら、社会福祉の援助が必要な方の生活や権利を擁護し、「あなたに相談して良かった」と思っただけの日々頑張っていきたいと思えます。



北支部「任意後見・遺言について」研修報告



7月5日、三次公証人役場の藤本孝司公証人を講師に迎え、北支部研修会を開催しました。

今回は、介護福祉士会と介護支援専門員連絡協議会との共催により、北支部エリアの三次市・庄原市から30数名、また遠方からは本会西支部会員の参加もありました。

講義では、任意後見制度において後々トラブルにならないために、契約締結前から判断能力を慎重に見極めていることや、受任出来る者が少ないために他機関へ“つなげる”という点に課題を感じているという備

北地域の実情を併せてお話ししていただきました。社会福祉士会からは、ぱあとなあの活動内容をお伝えし、関係機関との連携を求める機会となりました。

広島県社会福祉士会の ピンバッジができました!

～会員活動。もっと楽しく!もっと有意義に!～



前号「会員便り第51号」でご報告しました、広島県社会福祉士会会員として活動しているという意識を高めることを目的として、5月の総会で広島県社会福祉士の新たなロゴマーク(hacsw)が発表され、この度“ピンバッジ”として登場。

Hiroshima 広島
Association
of Certified 協会
Social Workers 社会福祉士

この“ピンバッジ”を、今後開催される研修会や支部会などで、1個1,000円で販売します。名刺を作成される場合にロゴマークを掲載したり、他の職能団体との連携を図られる際などに“ピンバッジ”を身に付けるなど、積極的にご活用ください。

また、購入していただいた会員の皆様への特典も順次企画していき、会員メリットを実感していただきさらに充実した会員活動ができるよう工夫してまいります。具体的な特典内容は、今後の会員便りに掲載していく予定ですので、毎号を楽しみにしててください。

“ピンバッジ”購入に関するお問い合わせは、各支部長または事務局までお願いします。

組織率向上委員会 委員長 平岡和子

社会福祉士お勧めの図書

「平成26年版厚生労働白書」
— 健康長寿社会の実現に向けて — と題して公表

「厚生労働白書」は、厚生労働行政の現状や今後の見通しなどについて、広く国民に伝えることを目的に毎年とりまとめであり、平成26年版は平成13(2001)年の「厚生労働白書」発刊から数えて14冊目となります。

厚生労働白書は2部構成となっています。第1部では、毎年テーマを決めて執筆しており、今年は「健康長寿社会の実現に向けて～健康・予防元年～」としました。

具体的には、これまでの健康に関する施策の変遷に触れつつ、国民の健康に関する意識を分析した上で、健康づくりに関する取組が広がるよう、自治体や企業等の事例を紹介しています。

国民の皆様にとって、この白書が健康について意識するきっかけとなるとともに、今後の健康の保持・増進に向けて活動していただく参考となればと考えております。第2部「現下の政策課題への対応」では、子育て、雇用、医療・介護、年金など、厚生労働行政の各分野について、最近の施策の動きをまとめています。
(厚生労働省HPより)



★ホームページで白書の閲覧ができますのでぜひチェックしてみてください★



(厚労省のサイトから) 今の日本がわかる資料です！
横にして見てみてね

福祉・年金について

国民年金の被保険者は？ 第1号(自営業、学生等)	14.6人
第2号(サラリーマン、公務員)	29.8人
第3号(第2号被保険者の配偶者)	7.5人
老齢年金の受給者は？	23.3人
保育所に入所しているのは？	1.7人
障害者は？	6.2人
生活保護受給者は？	1.7人
介護サービスを 受けているのは？	3.8人



医療について

健康状態が「よくない」「あまりよくない」と感じているのは？ 6歳以上	12.2人
日常生活の悩み、 ストレスを感じているのは？ 12歳以上	46.5人
健康や人間ドックを 受けたことがあるのは？ 20歳以上	64.3人
病気やけがなどで 通院しているのは？	37.0人
生活習慣病は？ がん 糖尿病 高血圧性疾患	12.6人 1.2人 2.1人 7.1人
タバコを吸うのは？ 男性 女性	13.5人 3.8人
生涯でがんになるのは？ 男性 女性	28.3人 22.1人
骨髄移植ドナーに 登録しているのは？	0.35人
習慣的に運動をしているのは？ 男性(20歳以上) 女性(20歳以上)	14.3人 12.0人
健康保険加入者は？ 組合健康・協会けんぽ 国民健康保険	50.6人 30.0人

※「生活習慣病」は、高血圧、糖尿病、脂質異常症、がん、脳血管疾患及び認知症を総称した数値である。

人口について

性別は？ 男性 女性	48.6人 51.4人
年齢は？ 15歳未満 65歳以上	12.9人 25.1人
学生は？ 小学生 中学生 高校生 大学生・大学校生	5.2人 2.8人 2.6人 2.3人
そのうち575歳以上は？	12.3人

日本 100人でみた日本

日本を100人の国に例えてみました。
それぞれの国別の数字である。(平成20年～平成25年)

雇用について

仕事についているのは？ 雇われているのは？ 自営しているのは？	43.6人 4.4人
雇われているのは？ 男性 女性	49.6人 24.7人 18.9人
雇用形態は？ パート アルバイト 派遣 契約社員・嘱託	7.3人 3.1人 0.9人 3.0人
フリーターは？	1.4人
失業者は？	2.1人
短時間で働いているのは？ 週35時間未満	14.7人
長時間働いているのは？ 週60時間以上	4.5人
雇用保険加入者は？	30.5人
雇用保険受給者は？	0.5人
会社の健康診断で「有所見」は？	22.7人

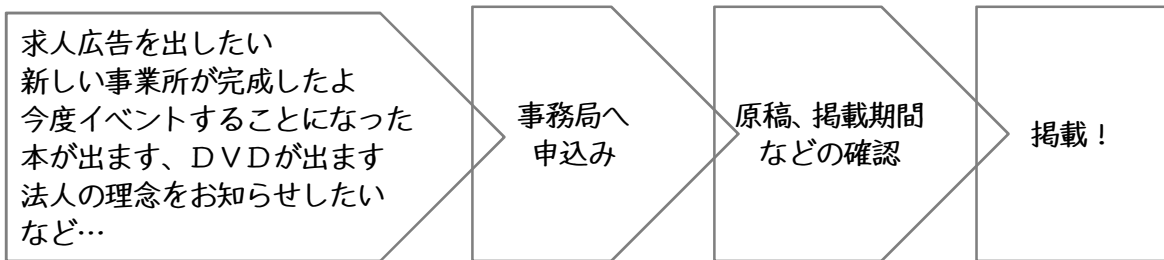
厚労省のサイトには、「100人でみた日本」のほか「日本の1日」もあります。一度、チェックしてみてください。

平成26年度会員便り

広告掲載記事を募集中

社会福祉士は、ソーシャルワークの専門職として、地域にある多様な社会課題を解決するなかで、住民の権利擁護に貢献し、ノーマライゼーションの実現をめざし、もって地域の福祉に貢献しさらなる活動の場を広げています。昨年春に公益社団法人化し会員900人余りで構成する本会は、県民の暮らしに貢献できる職能団体として広く発信していくために広報事業の拡大に取り組んでいます。現在、会員便りの2か月ごとの郵送発行とホームページをメインに取り組んでいますが、今後ホームページの活用、会員便りのメール配信をはじめあらゆる媒体に取り組む予定です。

ついては、社会福祉をめぐる現場での課題を共有し、よりよい福祉実践のためにネットワークをつくるために本会広報媒体を活用いただきたいと、このたび関係諸団体の広告協賛の募集を開始いたします。理念の告知、イベントお知らせ、新規事業開始のお知らせ、人材募集情報など、各種の広報・告知と社会福祉士の相談援助実践における社会資源情報の発信もかねて、ご活用いただきたいと思います。関係各位の広告掲載の申し込みをお待ちしています。



内 容	期間・回数	料金（税別）
「会員便り」記事掲載	1年（6回発行） 半頁（A5）巻末広告集	60,000円
	1年（6回発行） 四半頁（A6）巻末広告集	30,000円
	1年（6回発行） 八半頁（A8）巻末広告集	20,000円
	単発（1回のみ） 半頁（A5）巻末広告集	15,000円
会報紙へのチラシ同封	1回 A4・1枚	30,000円
ホームページ掲載	1年掲載	120,000円
ホームページ記事掲載	1回（2か月まで）記事掲載	10,000円

ご応募いただきます折には、ホームページ上から「公益社団法人広島県社会福祉士会広告掲載取扱規程」「広告掲載申込書」をダウンロードいただき、本会事務局へお申込みください。

公益社団法人 広島県社会福祉士会

TEL : 082-254-3019 FAX : 082-254-3018

研修&イベント情報



「北支部主催 実践報告会」

日 時 10月18日(土) 18:30~20:30 (受付18:00~)
 会 場 三次市生涯学習センター2階 第2講座室 (三次市十日市東三丁目14番1号)
 参加費 100円
 内 容 「実践報告会」
 ① 松田 ひろみ 会員 社会福祉法人優輝福祉会 相談支援事業者 ゆうしゃいん
 ② 末國 恵子 会員 医療法人微風会 ビハーラ花の里病院 地域医療連携室
 ③ 藤尾 正彦 会員 社会福祉法人庄原市社会福祉協議会 東城地域センター
 申 込 別紙、FAXにてお申込み下さい。
 締 切 10月6日(月) ※当日参加もOKです!
 主 催 北支部

「中南支部 宿泊研修」

日 時 10月4日(土)~10月5日(日)
 場 所 宿泊先 国民宿舎 能美海上ロッジ (江田島市能美町中町1265)
 研修先 特定非営利活動法人 地域の絆 (江田島市能美町鹿川2758-1)
 内 容 1日目 18:00~ 懇親会(17:00チェックイン)
 2日目 10:00~ 研修会
 「地域に根づく福祉実践とは~小規模事業所の活動を通して~」
 講師:本会会長 中島 康晴さん
 参加費 7,602円(2日目研修会のみ参加の方は1,000円)
 締 切 9月15日(月)
 ※詳細はチラシに掲載します。

「伝えたいことを伝えるための広報誌作成入門講座」 by 広報委員会

日 時 10月10日(金) 18:30~20:30
 場 所 広島市東区地域福祉センター
 内 容 広報誌づくりの基礎の基礎を学び、読んでもらえるためのスキルを学びます
 タイトルのつけかた/レイアウトのコツ/写真のとりかた/記事の書きかたなど
 具体的な事例をみながら一緒に学びます
 講師 フリーライター 梶津 利江さん
 対 象 職場で施設だよりやセンターだよりなど広報紙を作成している方、
 地域でボランティアだよりや地区社協だよりなどを作成している方
 また、関心のあるかた 定員30人
 締 切 10月1日(水)
 参加費 500円 ※詳細は、チラシとホームページに掲載します。

◆◆◆自宅できるボランティアを！ホームレス支援委員会からのお願い◆◆◆
 野宿生活をされている方を対象に、「くつろぎ・入浴サービス」を実施しています。

◇毎月第1・2金曜日と第3・4土曜日◇

お風呂でさっぱりしてもらい、食事・着替えの提供をしています。

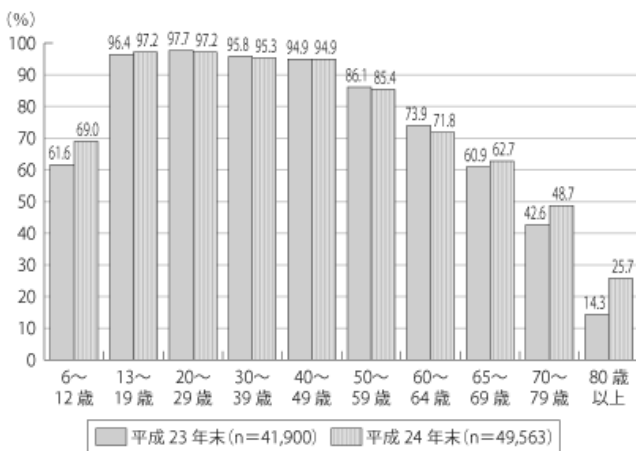
「新品のタオルをたくさんもらったけど、使っていない」「Tシャツを購入したけど、気に入らない。ず〜っとタンスの引き出しに眠ってる」など、使っていないものがありましたら、ぜひ、ご寄付のご協力をお願いします。（ご不明な点がございましたら、事務局へお問い合わせください）

衣類（Tシャツ、ポロシャツ、下着など）、
 タオル、石鹸、お米や保存食なども助かります
 お中元など夏のご挨拶のものなどもうれしいです
 ~お願い~ 新品でお願いします
 食品は未使用、賞味期限のまでのもの。

♪ご家族ご親戚お友達にも話してみてね~



Facebook もう始めてる？



★☆☆★
 本会フェイスブックページです

71.8%から73.9%へ

これは60~64歳のインターネット普及率の1年の伸びです。60歳代の方々がほぼ6割以上、70歳代でも5割近くの方々の利用があり、全体で6割以上が1日1回は利用しているとのこと。どの世代ももはや必需品ですね。苦手意識はさておいて、まずは「おもしろいな!」と思うことから始めましょう。

編集後記

この3月から広報委員の一員として広報誌の作成に携わることになり、今回の編集後記を担当することになりましたよろしくお願いします。

編集も何もしたことない素人ですが、今後、皆さん会員同士のつながり作り、自己研さんのための情報発信に少しでも協力できるよう頑張っていこうと思います m(_ _)m

さて、広島県社会福祉士会のロゴマークが出来上がりました。これから私たちを象徴するマークになってほしいです!!!! てか、このマークの周知するのも広報委員の仕事の1つですよね? (^_^) (笑) と言うことで、新米広報委員は雨にも、風にも、残暑にも負けず、これからも頑張ります(◎o◎) / ! (酒井良裕)